

第一学年

バス旅行

君の笑顔☆輝いていたよ

一学年主任 小松原 仁



十月二五日、生徒一九八名および引率十名で、東京ディズニーシーに行きました。

台風二七号の影響により、実施に踏み切ったのが二日前。前日には雨や風対策として、雨合羽や着替え等を持参するように連絡。当日は曇。普段より早い出発にもかかわらず、坂本先生や鈴木先生に見送られながら予定通り七時出発。埼玉県に入り雨。ディズニーシーには九時二〇分に到着。その後、約六時間三〇分アトラクションなどと思い思いの時間を過ごし、連帯感や友情を深めた。帰日も五分前に出発できるなど「規律ある行動」という目的も達成。引率した我々にとっても、一年生の良さに改めて気付かされた充実した一日になりました。

第二学年

修学旅行

沖縄・台風・深まる絆

二学年主任 猿山 浩



全員での記念写真



美ら海水族館



サプライズ!! バースデーパーティ

修学旅行は昨年同様台風に翻弄されました。前日まで飛行機は飛ぶのか、予定どおり帰れるのかなど心配は尽きませんでした。暴風雨で計画を一部変更した見学箇所がありました。結局概ね予定どおり皆元気に行動できました。

見学地やホテルでは城南生のマナーの良さを誉めていただくことがあり誇らしく思いました。戦争や平和、命の尊さについて深く学ぶ時と遊びで大はしゃぎするときのメリハリができていました。

抜けるような青空と透き通る海の綺麗さを見せられなかったのは非常に残念でしたが、旅行をとおして友達同士と先生方との絆・二学年の団結力が確実に強まりました。ハプニングもありましたが、写真で楽しさが伝わると嬉しいです。

第三学年

大切な「何か」

三学年主任 塩入 靖司



キャンドル作り



もとぶ元氣村



古宇利島



もとぶ元氣村

自分が選んだ道は教師だ。だが、思い返せば高校時代、自分は医者を目指していた。今でも通院した時など、白衣を身にまとった医者が診察している姿を見ると「自分もあの職業を目指していたのだ。もしあんな風になっていたなら、どんな人生を送っていたであろうか。」などと想像してしまうこともよくある。では自分はこの教師という職業に就いたことを後悔しているのだろうか。医者になりたいという願望が残っているのか。いや、そのようなことはない。教師になったことは全く後悔していない。むしろ

ろなつてよかったと思っている。それはあなたたちに出会うことができたからだ。将来、自分が選んだ職業の中で、かけがえない大切な「何か」を見つけて下さい。

命を学ぶ防災教室を通して考えたこと 3年1組 若林 由羽

私は今回初めて被災地を訪れました。現地の方は身内や友人を失っているにもかかわらず、私たちに笑顔で接してくださいました。しかし、当時の心境や状況を話しているときは、少し苦しそうでした。震災から二年以上経過していましたが、元の状況に戻るまでに、まだまだ多くの時間が必要だと感じました。同時に、今まで自分が何もできていなかったことにも気付きました。だから、今回私たちの知らない被災地の方々の想いを今度は私が身近な人達から伝えていくべきだと思いました。そして、伝えるだけでなく復興に向け、ボランティアにも参加したいと強く感じました。



追悼施設



リアス・アーク美術館